

2021年3月期 第3四半期 決算説明会

2021年2月2日

日本ユニシス株式会社

注力領域は堅調に推移するもICTコア領域の中小型案件減少により減収。
新規事業創出に向けた研究開発等に積極投資を継続。

(単位：億円)

	3Q累計 (4-12月)		前年同期比 増減	
	2021/3期	2020/3期		
売上高	2,133	2,189	△56	△2.6%
売上総利益	557	559	△2	△0.3%
販管費	△394	△393	△1	△0.2%
営業利益	162	165	△3	△1.6%
(営業利益率)	(7.6%)	(7.5%)		(+0.1pt)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	109	119	△10	△8.4%
受注高	2,137	2,030	+107	+5.3%
受注残高	2,310	2,107	+204	+9.7%
(内、年度内売上予定分)	613	585	+28	+4.7%

<3Q累計決算のポイント>

■売上高

アウトソーシングサービスが引き続き堅調に推移した一方で、ICTコア領域を中心に既存システムの改修先送り等からシステムサービスが減少。

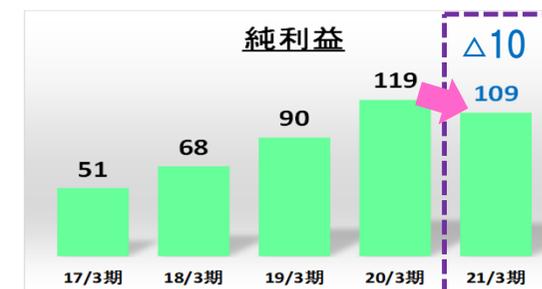
■営業利益

売上総利益はシステムサービスでの減収に伴う減益をアウトソーシングサービス等でカバーし微減。新規事業創出に向けた研究開発費が増加したほか自社セキュリティ基盤強化等に伴い販管費が増加し、営業減益。

■受注高・受注残高

第2四半期に続き第3四半期においても長期大型アウトソーシング案件およびDX関連の機器販売案件が積み上がり受注高および受注残高は増加。受注残高のうち年度内売上計上予定分についても製品販売を中心に増加。

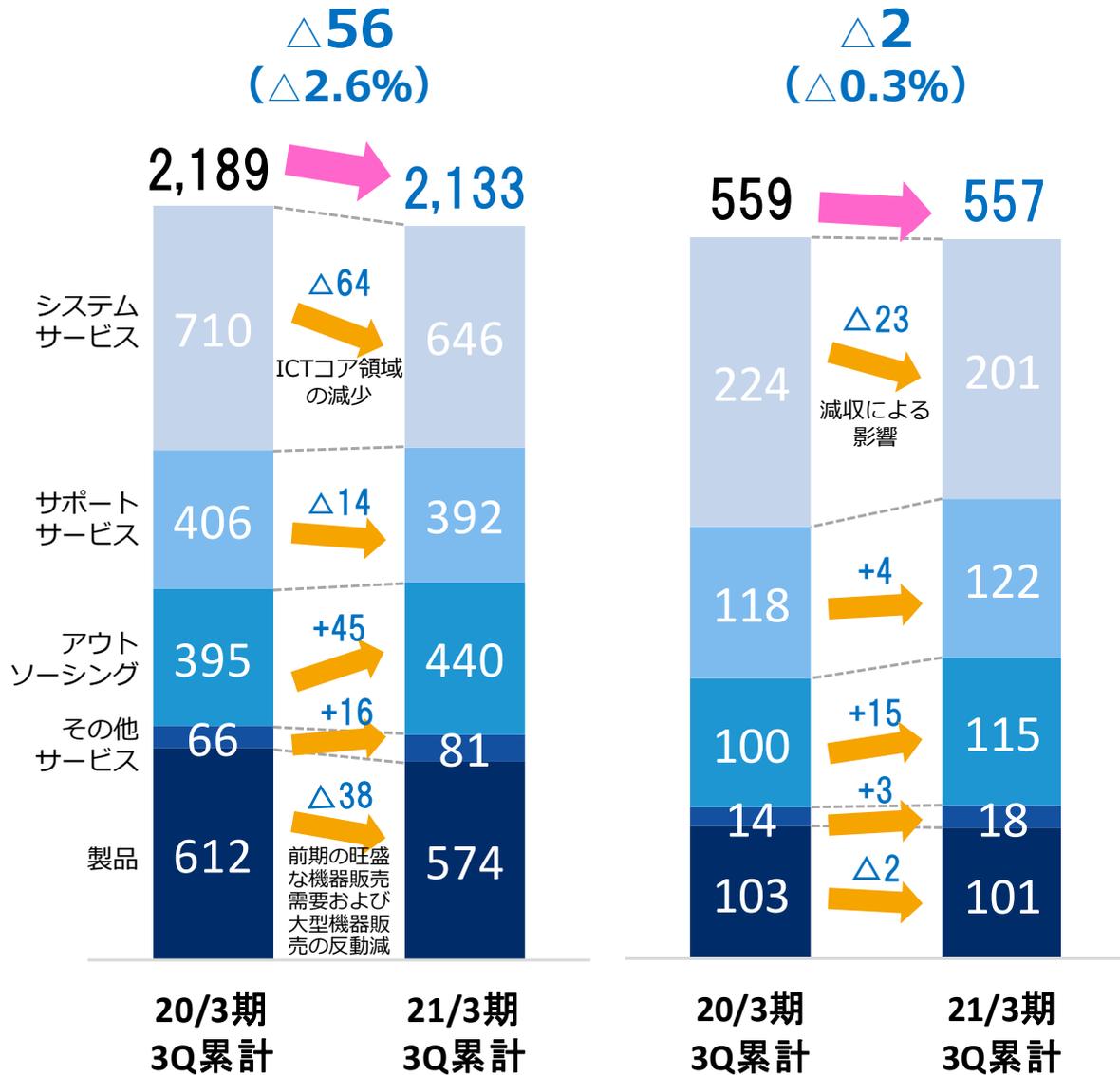
【ご参考】 3Q累計 (4-12月) 業績の推移 (単位：億円)



(単位：億円)

売上高

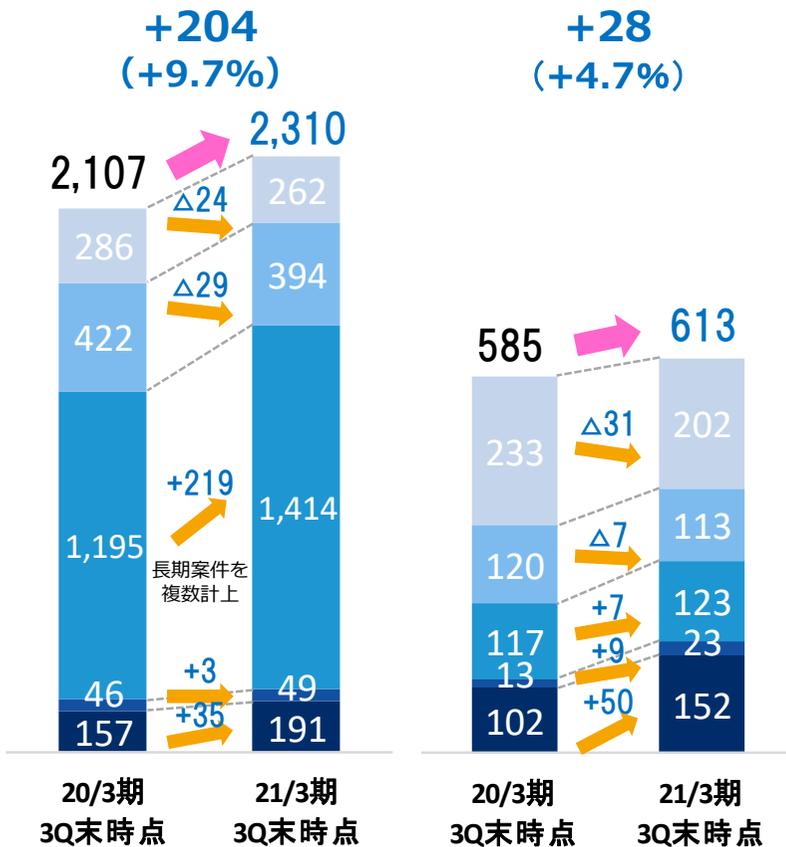
売上総利益



【ご参考】

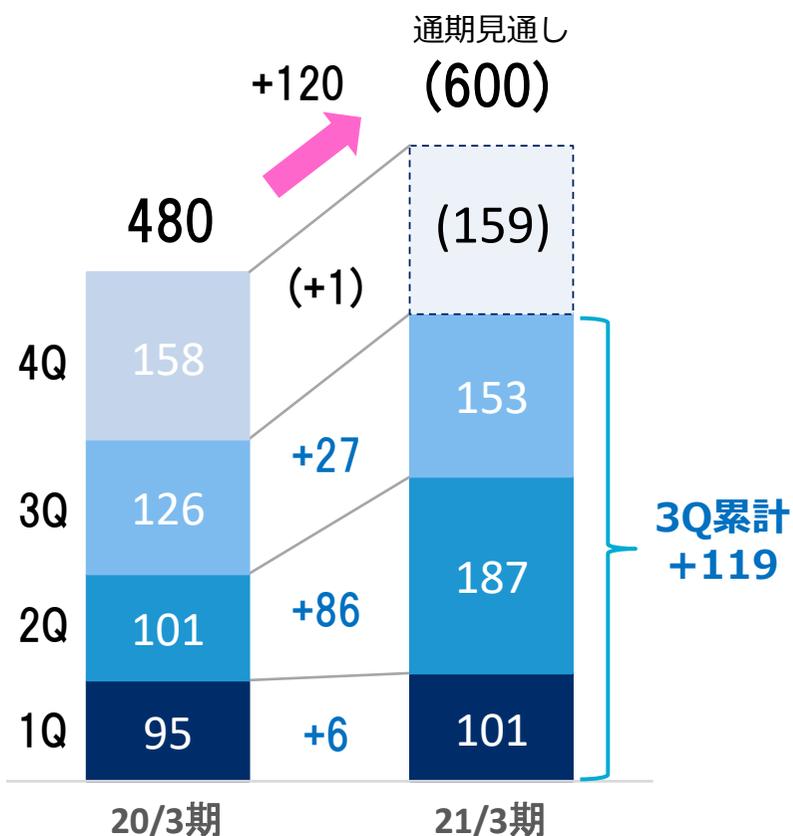
受注残高 (合計)

受注残高 (年度内売上予定分)



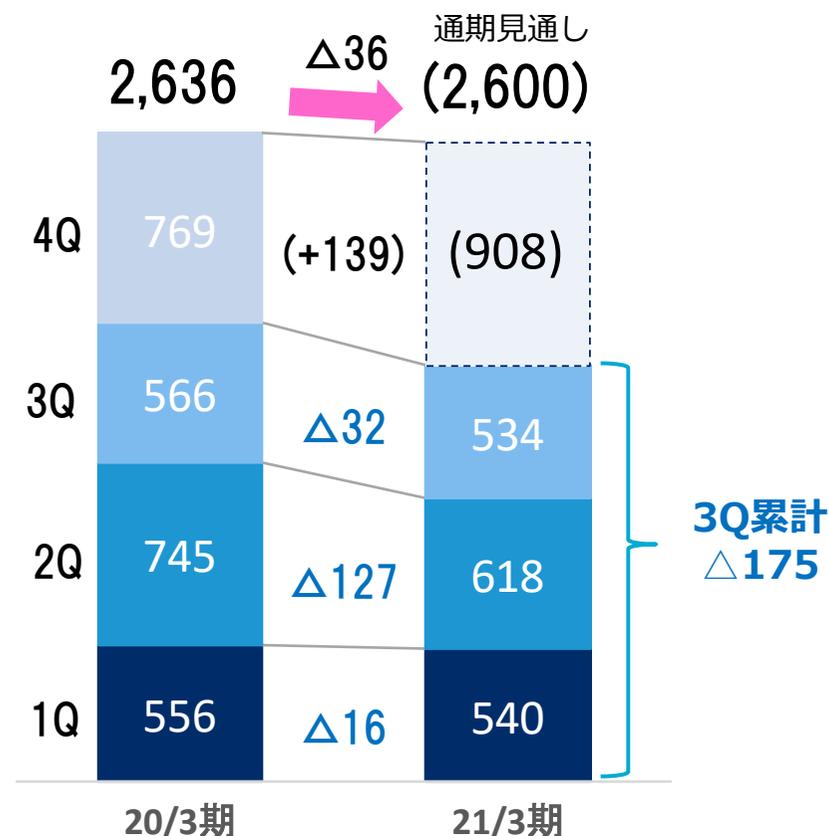
(単位：億円)

注力領域 売上高



- ・小売業向けを中心とした業務系のDX関連ビジネスおよび教育DX（GIGAスクール関連）の機器販売案件が堅調に推移
- ・ドライブレコーダー、エネルギー管理関連の利用も着実に拡大

ICTコア領域 売上高



- ・一部業種における投資抑制、バックオフィス系システムを中心とした案件先送りが継続
- ・前年第3四半期におけるメインフレームの製品販売が剥落

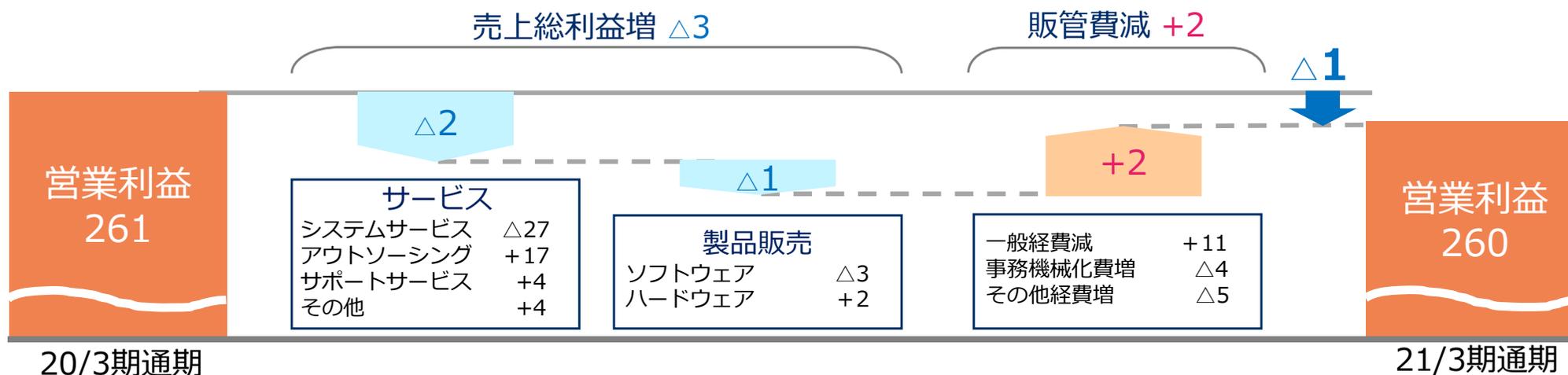
✓ 通期予想は前回（11月6日）公表値から変更なし。

（単位：億円）

	21/3期 3Q累計実績		21/3期 4Q予想		21/3期 通期予想		21/3期 中期経営計画 計数目標
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額
売上高	2,133	△56	1,067	+140	3,200	+84	3,200
営業利益	162	△3	98	+1	260	△1	
（営業利益率）	（7.6%）	（+0.1pt）	（9.1%）	（△1.3pt）	（8.1%）	（△0.3pt）	8%以上
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	109	△10	61	△2	170	△12	

【2021年3月期 通期予想 営業利益の増減分解】

* 通期予想の内訳は補足資料をご覧ください。
（単位：億円、増減は前期比）



Foresight in sight

UNISYS

(注意)

本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があり、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。